

選手、医療従事者、サポートスタッフ 各位

(公財)日本ゴルフ協会
アンチ・ドーピング委員会

2022年禁止表国際基準
【重要】 S9.糖質コルチコイド(痛み止め注射)の使用について

競技会出場を目指す選手は「痛み止め注射の使用」には十分注意してください。

競技会(時)における禁止物質 S.9糖質コルチコイドは、これまで局所注射は禁止されていませんでしたが、**2022年1月1日からすべての注射の使用が禁止**となりました。

糖質コルチコイドは、日本では痛み止めの注射として、関節・筋・腱等の痛みのある部分に局所麻酔剤との併用で炎症を抑えるためによく用いられています。競技会外(時)に使用することは禁止されていませんが、**競技会前に使用した場合、競技会(時)のドーピング検査で検出されれば、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があり、TUE(治療使用特例)申請が必要です。**

競技会(時)のみで禁止される糖質コルチコイドを競技会外(時)に使用した場合には、ドーピング検査で検出された後からでも TUE 申請できますが、**申請すれば必ず認められるわけではありません。**

薬剤によっては1ヶ月近く体内に残留する種類もあり、特に長期間効果のある種類の薬剤を使う場合が多いため、使用には十分注意が必要です。

●選手、医療従事者、サポートスタッフは、以下の点に注意してください。

① 競技会前に糖質コルチコイドを注射、経口、直腸使用した場合

体内に吸収された薬物がほぼすべて排出される最低限のウォッシュアウト期間は以下のようにされています。

ウォッシュアウト期間(Washout period)		
(参考) 2022年禁止表『主要な変更の要約と注釈』		
経路	糖質コルチコイド	ウォッシュアウト期間
経口 [口腔粘膜、口腔(頬)、歯肉、舌下投与を含む]	すべての糖質コルチコイド	3日
	但し、トリアムシロロンアセトニド	30日
筋肉内	メチルプレドニゾン	5日
	プレドニゾン、プレドニソン	10日
	トリアムシロロンアセトニド	60日
局所 (関節周囲、関節内、腱周囲、腱内)	すべての糖質コルチコイド	3日
	但し、トリアムシロロンアセトニド、プレドニゾン、プレドニソン	10日
医療従事者への協力依頼: TUE申請がいつでも対応できるよう医療記録の保持や速やかなご提供をご協力ください。 (ウォッシュアウト期間は参考情報です。TUE申請のタイミングを確認するために使用してください。)		

(*ウォッシュアウト期間には個人差があるので、薬物が完全に排出されることを保証するものではない。

ドーピング検査で検出された場合に備えて、遡及的 TUE(治療使用特例)申請の適切な準備をしてください。 投与時点から競技会までにウォッシュアウト期間がとれない場合には、ドーピング検査で対象になると検出される可能性が高く、事前に TUE 申請しておいても良いでしょう。

②競技会(時)に糖質コルチコイドを使用する場合は、すぐに「TUE 申請が必要」です。

治療目的で競技会(時)に禁止される物質を使用する場合の TUE 手続きについて (糖質コルチコイドのウォッシュアウト期間を参考のこと)			
	競技会(時)の使用	ウォッシュアウト期間の使用	ウォッシュアウト期間以外 [※] の使用
TUE	必要	必要の場合がある	必要の可能性が低い
対応	すぐに申請	競技会(時)ドーピング検査から検出された場合、 遡及的申請(要件有) が必要(医療情報を用意しておく)	競技会(時)ドーピング検査から検出された場合、 遡及的申請(要件有) が必要(医療情報を用意しておく)

- 歯根管内、経皮、経鼻、点眼、肛門周囲塗布を含む吸入や局所使用については、用法用量に従った糖質コルチコイドの投与は禁止されていませんので、競技会(時)でも使用可能です。
- TUE は以下に示す「4つの条件」がすべて満たされことを証明したときのみ付与されます。
ドクターは、治療の正当性を証明する医療情報を TUE 申請時に所定の書式に記載することが求められています。

4つの承認条件

1. 治療をする上で、使用しないと健康に重大な影響を及ぼすことが予想される。
2. 使用しても、健康を取り戻す以上に競技力を向上させる効果を生まない。
3. 他に代えられる合理的な治療方法がない。
4. ドーピングの副作用に対する治療ではない。

《JADA Web サイトから動画で確認》



《本件についてのお問合せフォーム(JADA)》

